

第 16 回有機触媒シンポジウム

日時：2023 年 11 月 27 日～11 月 28 日

会場：東北大学大学院理学研究科 大講義室（青葉山北キャンパス）

主催：有機触媒研究会

共催：日本化学会・日本薬学会・有機合成化学協会

プログラム

招待講演(IL)： 発表 50 分 + 質疑 10 分

口頭発表(OC)： 発表 15 分 + 質疑 5 分

11 月 27 日 (月)

13:00–13:10 開会の挨拶 (東北大院理) 寺田眞浩

Session 1 座長 (東北大院理) 寺田眞浩

13:10–14:10 **IL1** (名大院工) ○石原一彰

リチウムアセチリドのケトンへのエナンチオ選択的付加反応に有効なキラル大環状ジリチウム塩触媒の開発

14:10–14:40 Break

Session 2 座長 (東京農工大院工) 小田木陽

14:40–15:00 **OC1** (¹阪大院薬, ²阪大産研) ○佐古真¹・Ahmed S. Gabr²・Mohamed S. H. Salem²・Md. Imrul Khalid²・滝澤忍²

ヘテロ[8]サーキュレンの電解合成と光触媒としての応用

15:00–15:20 **OC2** (¹学習院大理・²立教大理) ○成田千裕¹・須田悠介¹・内倉達裕¹・隈井勝也²・山中正浩²・秋山隆彦¹

キラルリン酸を用いたトリフルオロメチルケトイミンに対する複素環化合物のエナンチオ選択的 Friedel-Crafts アルキル化反応

15:20–15:40 **OC3** (静岡県大院薬) ○小林史尚, 原口卓巳, 江上寛通, 濱島義隆

新規チオウレア型光触媒を用いた α -トリフルオロメチルスチレン類のヒドロキシルアルキル化反応

15:40–16:00 **OC4** (¹東北大院薬、²東北大学際研、³JSTさきがけ) 笹本大空¹・林和寿¹・田原淳士^{1,2}・根東義則¹・○重野真徳^{1,3}
分解性芳香族ポリマーの設計と合成

16:00–16:30 Break

Session 3 座長 (静岡大学グリーン科学技術研究所) 間瀬暢之

16:30–17:30 **IL2** (阪大院工) ○鳶巢守
求核性有機分子を用いる新反応開発

18:00– 懇親会

11月28日(火)

Session 4 座長 (東北大院薬) 重野真徳

9:30–9:50 **OC5** (神戸薬大薬) ○平田翼・池上あゆみ・波多野学
有機光触媒を用いる1,4-ジアリール-1,3-ブタジエンへの*O*-,*N*-,および*C*-求核剤による位置選択的ヒドロ官能基化反応

9:50–10:10 **OC6** (千葉大院薬) ○山西恭輔・芦原銀・北島満里子・原田慎吾・高山廣光・石川勇人
天然物ライブラリーを用いた新規不斉有機触媒モダリティの探索研究

10:10–10:30 **OC7** (東北大院理) ○河内元希・須賀友梨奈・戸田駿介・林雄二郎
有機触媒を用いたラタノプロストの6ポット合成

10:30–12:00 ポスターセッション (前半45分: 奇数番号、後半45分: 偶数番号)

12:00–13:00 お昼休憩

Session 5 座長 (東北大院理) 林雄二郎

13:00–14:00 **IL3** (立教大理) ○山中正浩
実験と計算のインタープレイ: 柔軟構造を有する不斉分子触媒の開発

14:00–14:30 Break

- Session 6** 座長 (東北大院薬) 笹野裕介
- 14:30–14:50 **OC8** (¹北大総合化学院・²北大院工・³北大ICReDD List-PF) Gao Tianle¹・○Li Feng²・磯野拓也²・佐藤敏文^{2,3}
Toward Fully Controllable Monomer Sequence: Binary Organocatalyzed Polymerization from Epoxide/Aziridine/Cyclic Anhydride Monomer Mixture
- 14:50–15:10 **OC9** (東北大院理) ○品川尚弥・梅宮茂伸・寺田眞浩
キラリリン酸/遷移金属共触媒反応を駆使した Leucascandrolide A macrolactone の効率的全合成
- 15:10–15:30 **OC10** (京都薬大) ○浜田翔平・阪本圭織・宮崎瑛梨・Elghareeb, E. Elboray・小林祐輔・古田巧
ニトロキシル型酸化触媒によるベンジル・アリル位のシリルエーテル選択的酸化法の開発
- 15:30–15:40 閉会の挨拶 (東北大院理) 寺田眞浩